



ご挨拶
同窓会長
齋藤 隆



ご挨拶
校長
加藤 千恵

令和四年正月、連日の大雪に四苦八苦しております。会員の皆さまご健勝でお過ごしでしょうか。日ごろより本会事業にご理解とご支援をいただき感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの感染は、早いもので三年目を迎えました。新たな変異株オミクロン株は、世界各々に爆発的に拡大し日本においても猛烈なスピードで感染拡大している状況にあります。

本年度の総会は、コロナ禍でありましたがワクチン接種が進

み、全国的に新规感染者に減少傾向が見られたことから二年ぶりに開催し、本校創立百二十周年記念事業等について審議していただきました。コロナ禍の中、生徒の健康・安全を最優先として規模を縮小し実施することを提案しました。その内容は、記念祝賀会は中止し、「記念式典及び記念講演会並びに「十年歩み」を発刊する事業で承認いただき、

寅年にあやかり将来を見据えて今後の同窓会事業の在り方等を検討していく必要があります。ボスト百二十周年として、「壬寅」に現実なものとなっています。

生の減少により同窓会予算の縮小が現実的な状況です。現在は、基金積立金から繰入をし、前年度並みの事業を開催していますが抜本的な見直しの必要性を強く感じているところもあります。

新年を迎え、会報を通じ同窓生との繋がりを大切にするとともに、母校の発展と皆さまのご活躍を祈念し挨拶とします。

瑞穂会報

発行所
〒997-7601
山形県鶴岡市藤島字古橋跡221
山形県立庄内農業高等学校
瑞穂同窓会
電話 0235(64)2151
FAX 0235(64)2404
E-mail shono@shonai-ah.ed.jp
印刷所
JA印刷山形

庄農校歌

作詞 土井 晚翠
作曲 辻 順治

一、國の大本農の業
学び修むる庄内の
我が三君子若き子等
ひたいにかゞす象徴の
穂は千万の民の糧

二、鳥海月山羽黒山

水は名に負ふ最上川
山河自然の雄大を
朝な夕な眺めつ、
浩然の氣を育つ予等

三、庄内の農学の
校に集る若き友
感謝に充ちて天職の
清きを奉じ京遠く
その向又の道を進え

六月二十八日(月)瑞穂会館において総会が開催されました。

- (一) 令和二年度事業報告
並びに決算報告について、会計監査報告
① 令和二年度瑞穂同窓会
基本金積立金決算
② 令和二年度瑞穂同窓会
経常費収支決算

- (二) 令和三年度事業計画
並びに予算案について
① 令和二年度瑞穂同窓会
創立百二十周年記念事業について
② 令和二年度瑞穂同窓会
事業について

- (三) 役員改選について
① 令和二年度瑞穂同窓会
創立百二十周年記念事業について
② 令和二年度瑞穂同窓会
その他の事務

- (四) について
原案通り承認されました。

(五) について
原案通り承認されました。

(六) について
原案通り承認されました。

(七) について
原案通り承認されました。

(八) について
原案通り承認されました。

(九) について
原案通り承認されました。

(十) その他
(記録・佐竹 正浩)

第四十二期生
志田鶴峰

瑞穂同窓会の皆様には、日頃より本校の教育活動に御支援を賜り、深く感謝申し上げます。今年度本校は創立百二十周年を迎える。記念事業として、瑞穂同窓会より本校の教育の充実に向け、瑞穂会館のトイレ改修、同窓会車両の導入、テントの更新等、多大なる御支援を賜りました。深く感謝申し上げます。実行委員会の皆様には令和元年よりご準備いただいたおりましたが、想定外のコロナ禍に見舞われ、式典・記念講演は実行委員代

表と学校関係者のみで十月二十九日に挙行いたしました。記念講演では、昭和五十七年度卒の加茂水族館長奥泉和也様より「加茂水族館 クラゲ展示の軌跡」と題して御講演いただき、「自分が好きで活躍するかつてない先輩はみんなで成功するまで何度も努力することが大切」というメッセージをいただきました。「地域の皆様に協力いただきながら地元でも庄農うどん大作戦を実施しております。農業部では加工班が地元の皆様に御協力いただきながら今年も庄農うどん大作戦を実施しております。農業部では加工班が地元の庄農の卒業生だった。自分もそななりたいと憧れて庄農に入つセーレー」というお話を、改めて本校の同窓生の皆様が地域を支え、牽引してきたことを実感した次第です。

在校生も偉大な先輩方に統け、とにかくに力を伸ばしております。

今年度は農業クラブ競技会で、意見発表、平板測量、農業情報処理

百二十周年記念事業実行委員長あいさつ

百二十周年記念事業実行委員長

齋 藤 隆

母校は、明治三十四年山形県立莊内農学校として開校以来、百二十年もの間この庄内の地でしっかりと根を張り明治から令和にわたる激動の時代、農業経営のリーダーとしてまた政治・経済・教育分野等においても活躍し庄内地域の振興と発展に大きく貢献してきました。このことは、同窓生の誇りであります。

同窓生は、昨年三月の卒業生を加えて一万七千名を超えます。母校は、先輩諸氏そして歴代の先生方・地域の皆さまが築きあげてきた輝かしい歴史と伝統を誇る学び舎であります。

創立百二十周年という節目の年、温故知新的精神で歴史や伝統から学んでいくことは、大切なことだと考えます。先の創立百周年記念誌では「明治三十四年二十世紀の幕開けとともに創立した山形県立庄内農業高等学校は、平成十三年創立百周年を迎えた。『国の大本農の業』庄農の歩みは日本の農業そして庄内地域の農業の歩みそのものだつたといえるだろう。」から始まります。母校が如何に地域社会に貢献してきたか、その歩みを読み取ることが出来ます。その後、百年誌の補完として平成二十一年には「山形県立庄内農学校四十七年史」が刊行され、開校当時の時代背景と明治から

平成までの本校の変遷・歩みがさらに詳細に記載されています。今回は「十年の歩みを」を刊行し、歴史のバトンを繋いでいます。過去は現在と繋がっています。過去を振り返り謙虚に歴史を学ぶことは大切なこと。そして現在は未来に繋がっていくのです。過去と未来をつなぐ百二十周年の節目にあたり、生徒の皆さん、教職員の活躍と母校の発展を祈念し挨拶をいたしました。

今回の記念事業が、本校、生徒の皆さん、同窓生、PTA会員、教職員、関係各位が一つの節目となり、益々のご活躍の契機となることを祈念しております。ありがとうございました。

庶務 小松 治



褒章・叙勲受章者

二〇二一年 春

黄綬褒章

澤川 宏一 殿

瑞宝單光章

渡会 健 殿

二〇二一年 秋

藍綬褒章

大滝 勝 殿

瑞宝單光章

志田 秀子 殿

旭日双光章

後藤 孝也 殿

渡会 健 殿

喜びの声

令和三年春の
叙勲に際しまして思う

渡会 健

はからずも瑞宝單光章の榮に
浴し身に余る光栄と感激致して
おります。

消防団活動を通して出会つた
多くの皆様のご指導やご鞭撻の
賜ものと深く感謝申し上げます。

今後皆様と知り合えたことを一
生の宝とし、地域防災に協力し
たいと思います。

おめででとう
ございます!!

褒章の受章して

大滝 勝

このたび藍綬褒章をいただき、
今まで一緒に消防団活動をして
来た皆様と、支えてくださいま
した地域の皆様に感謝申し上げ
ます。

私は、昭和六十二年に地元の
先輩方から誘いを受けて入団し
て三十四年になります。

今まで、続けてこられたのも
偏に、一緒に活動してこられた
先輩方や団員の皆様のご指導や
ご協力、又、地域の皆様のご協
力があつてこそ続けてこられた
ものと感謝しております。

今までの経験をこれから消
防団活動に活かしていきたいと
思います。

今までの経験をこれから消
防団活動に活かしていきたいと
思います。

今後藤島地域では「庄農瑞穂
同窓会親睦会」を開催する予定
です。今までクリスマスパーテ
イ、収穫感謝祭の様に盛大には
出来ませんが、庄農卒業者から
の講演を頂きながら縮小して開
催する予定です。

最後にきびしい農業情勢の中
新技術や新品種等を導入し、農
業を元気にしましょう。

支部だより

藤島支部総会について

藤島支部事務局 成澤 秀介



△ 同窓会役員名簿 △

顧問 新田 嘉一

保科直士 土井 博

副会長 齋藤隆

佐藤恵美子 加藤千恵

副会長 阿部昇司 渋谷耕一

会長 阿部昇司 渋谷耕一

理事 成澤正身 板垣允俊

監事 阿曾千一 丸山真理子

佐藤敬 加藤千恵

去渡勝宏 熊田洋勝

佐藤欣也 笹原俊明

佐藤宏 佐藤伸

佐藤才 佐藤弥一

相馬一広 高橋勉

川村章一 池田源衛

野口一広 渡辺一

佐藤幸男 阿部 努

櫛引 蓮池 昇

朝日 佐藤芳彌

監事 長南 進 加藤正彦

佐藤忠雄 岡部彌一郎

評議員 石井善兵衛

監事 長南 進 加藤正彦

佐藤光弘 斎藤久

櫛引 齋藤久

監事 立川 長南 等

櫛引 小林茂吉 成田光雄

監事 余目 日下 部市雄

櫛引 高橋和夫 小鷹菜一

監事 藤島 工藤正喜

櫛引 齋藤久 高橋和夫

監事 鹤岡 齋藤久

櫛引 齋藤久 高橋和夫

監事 太田 重義

櫛引 奥山俊一 高橋和夫

監事 土屋 真佐見

櫛引 吉宮 茂 高橋和夫

監事 鶴岡 支部

櫛引 齋藤 久 高橋和夫

監事 温海 五十嵐庄一

櫛引 佐藤昌哉 高橋和夫

監事 志田 秀子 石井善兵衛

櫛引 鈴木 敬一 小林達夫 高橋和夫

監事 大滝 常雄 太田 重義 高橋和夫

監事 藤原 潔 五十嵐甚太郎 高橋和夫

監事 三浦伸一 難波衛市 工藤啓市 高橋和夫

監事 後藤勇 難波衛市 高橋和夫

酒田 松本文雄 佐藤幸喜

大川 岩斎 斎藤成司

島田良彦 斎藤努

前田信也 佐藤守

川村章一 青葉徹

佐々木知夫

中瀬義秋 後藤孝之助

松山 佐藤政宏

新潟富権由

山形池田源衛

遊佐石川清

八幡後藤孝之助

平田石川清

幡山後藤孝之助

幡山池田源衛

幡山佐藤政宏

幡山佐藤智洋

幡山長南 優

幡山成澤幸喜 叶野哲

幡山斎藤浩紀

幡山渡部正宇

幡山佐竹正浩

幡山佐藤政宏

幡山土門涉

幡山小松治

幡山齋藤智洋

幡山長南 優

幡山成澤幸喜 叶野哲

幡山斎藤浩紀

幡山渡部正宇

幡山佐竹正浩

幡山佐藤政宏

幡山土門涉

幡山小松治

幡山齋藤智洋

幡山長南 優

幡山成澤幸喜 叶野哲

幡山斎藤浩紀

幡山渡部正宇

幡山佐竹正浩

幡山佐藤政宏

幡山土門涉

幡山小松治

幡山齋藤智洋

幡山長南 優

幡山成澤幸喜 叶野哲

幡山斎藤浩紀

幡山渡部正宇

幡山佐竹正浩

幡山佐藤政宏

謹んで弔意を表します（敬称略）

菅原 啓一（上田支部）

瀬尾 正輔（湯田川支部）

齋藤 光雄（中平田支部）

安達 保晴（東郷支部）